

# 2002年9月期中間決算説明会資料

## KV-Plan進捗状況

2002年11月19日

川崎汽船株式会社

# KV-Plan**基本課題の遂行状況**

## **< 基本課題 >**

- 1. コスト削減・IT活用による企業体質の一層の強化**
- 2. 地域密着型グローバル化の推進と営業分野間のシナジー効果の追求**
- 3. ロジスティクス事業への取り組み強化**
- 4. 輸送技術の革新の追求、安全運航の徹底と環境保全への取り組み強化**
- 5. 経営の透明性と効率性を目指すコーポレートガバナンス体制の強化**

## < KV-Plan基本課題1 >

コスト削減・IT活用による企業体質の一層の強化

- コンテナ船基幹業務システム「GAPP」グローバルアプリケーションネットワーク本格稼働(4月)
- 神戸支店と大阪支店を統合し関西支店設置(7月)
- コスト削減初年度目標200億円の実現見通し高まる(中間決算時点)
- 米国に“K” Line Global Systems, Inc (KGS) を設立し、グローバルIT戦略を立案し推進する拠点とする。(9月)
- 日本におけるB/L等の船積書類の作成をマレーシアの関係会社One Stop社に移管開始(10月)

## < KV-Plan基本課題2 >

### 地域密着型グローバル化の推進と営業分野間のシナジー効果の追求

- 韓国代理店(旧東宇海運)を“K” Line (Korea) Ltd.に社名変更 (4月)
- 資源輸送事業の欧州(ロンドン)拠点開設、大西洋、地中海水域の積極的ビジネス展開目指す。(7月)
- 川崎汽船の国内営業総代理店として(株)ケイラインジャパンを設立し、コンテナ船営業を中心に営業強化を図る。(10月)
- アフラマックスタンカーの整備(9月1隻竣工、2隻新造計画発表)とシンガポール中心の営業展開推進。(03年1月より)

### < KV-Plan基本課題3 >

#### ロジスティクス事業への取り組み強化

- 米国に“K” Line Total Logistics, LLP (KLTL)を設立し、北米を中心としたSCMを提供強化。(6月)
- ケイライン物流ホールディング(KBHS)役員会に国内物流子会社社長が結集し、営業のシナジー強化を追求。KBHSを中心に国内物流子会社の資本集約を図る。川崎航空7月実施(7月)
- タイにて、“K” Line (Thailand) Ltdを中心に国際物流のワンストップサービスを開始。(7月)
- 中国におけるロジスティクス事業の強化を図るべく上海に合併会社設立準備中。

## **< KV-Plan基本課題4 >**

**輸送技術の革新の追求、安全運航の徹底と環境保全への取り組み強化**

- **ISO 14001環境マネジメントシステム認証取得(3月)**
- **圧縮天然ガス(CNG)輸送研究における米国 EnerSea Transport社及び現代重工業との戦略的提携の発表(7月)**
- **海上コンテナへの貨物積付けプラン作成システム(VAN-PRO)開発(8月)**
- **「環境レポート2002」の発行(8月)**
- **タンカー大規模事故演習の実施(11月)**

## **< KV-Plan基本課題5 >**

**経営の透明性と効率性を目指すコーポレートガバナンス体制の強化**

- 関係会社取締役を含めたストックオプションの導入の決定(5月)と実施(9月)**
- 四半期毎にグループ経営懇談会を開催(5月以降)**
- 株式交換による太洋日本汽船と神戸栈橋の完全子会社化(9月)**
- 四半期連結決算のトライアル実施(第1四半期)と対外公表開始(本年度第3四半期より)**